

高尾森林ふれあい推進センター森林ふれあい推進事業（協定イベント）

「山の日」制定記念イベント

草木染と植物観察

実施主体：特定非営利活動法人 森とでんえん倶楽部

森とでんえん倶楽部では、関東森林管理局（高尾森林ふれあい推進センター）との協定イベントとして、高尾山国有林の日影沢キャンプ場において、10月5日に小学生の親子30名を対象の「草木染と植物観察」のイベントを計画しましたが、当日は、台風の影響で朝から雨模様であったことから植物観察を中止しての実施となりました。もう少し小雨なら雨の中の観察も楽しかったのではと思います。

草木染は、従来クヌギのガクを使い30cm四方のハンカチを染めていましたが、今回は玉ねぎの皮を使って50cm四方の大きいサイズのハンカチを使って染めました。丸や三角等に切った木の板や木片、ビー玉などを使い仕上がり模様を想像しながら、前加工・絞り入れを行い媒染にミョウバンと硫酸鉄を使って2色に仕上げました。最後に水洗いをし、広げて仕上がり模様を見て、思った以上に上手くできたと大喜びでした。



丸太切りは、初めて鋸を持つ子が殆どで、初めに歯をもつと怪我をすることや鋸を引いたときに切れて、押しても切れないことなどを教え、杉の丸太を1-2cmの厚みに切り、それを記念に持ち帰っていただきました。



草笛体験では、誰でもすぐに音が出せる巻葉笛を作ってもらいました。白樫の葉を割り箸に巻き、ほどけ無ないようにセロテープで止め、筒状になった葉の片側をつぶして吹くものです。直ぐに音が出るので、一人で幾つも作っている子もいました。



なお、火おこしは、火おこし具を使った体験でしたが、雨で湿度が高く、残念ながら発火まで至らない体験となってしまいました。



後日、当団体の別イベントに参加された方は、草木染体験のハンカチに早速お弁当を包んでいますと皆さんに披露していました。

(文・写真:森とでんえん倶楽部 横山信明)